



たかの  
**高野 たけし**  
無所属 48歳

- 淀子市議会議員（5期）
- ・教育民生常任委員会 委員長
  - ・議会運営委員会 委員
  - ・議会報編集委員会 委員
  - ・基地対策特別委員会 委員

## 高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

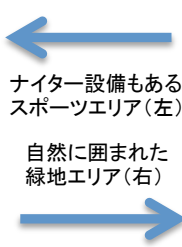
11月30日～12月14日の日程で第4回定例会が開催されました。市民の皆様から頂いたご意見・ご要望を踏まえ行政当局に質した一般質問の一部をご報告いたします。

### ◆魅力いっぱい“池子の森自然公園”

平成27年2月から共同使用が開始された池子の森自然公園スポーツエリアは、年々施設の認知度も上がり利用者は増加傾向にあるものの、400メートルトラックを除けば米軍家族の利用を含め約50%、小野球場に至っては30%台と低水準となっています。そこで、HPやSNSを活用したインフォメーションの強化や個人利用時間の拡大など、稼働率向上に向けた取り組みを体育協会と連携して行なっていくべき旨提言したところ、担当所管からは市民はもちろん市外の団体にも利用していただけるよう利用料金の見直しや施設内容の周知拡大に努めていくとの回答がありました。

また、様々な要因で整備計画がペンディングとなっている緑地エリアの施設等については一旦白紙に戻し、過度な設備投資をしない方向への転換を求めたところ、財政状況も鑑み見直しを図るとの回答が市長よりありました。

池子の森自然公園は、設備の整ったスポーツエリアと自然豊かな緑地エリアを有していることから、その魅力を最大限に生かした活用方法を引き続き模索していきたいと考えています。



ナイター設備もある  
スポーツエリア(左)

自然に囲まれた  
緑地エリア(右)



## 政治資金の残り

89,586円

(令和2年10月～11月の内訳)

収入…給与から	100,000円
支出…ポスター掲示用両面テープ	2,735円
ポスター作成	86,137円

### ◆プロジェクト応援団と一緒にまちづくりを推進

近年、ガバメントクラウドファンディングを活用する自治体が増えてきています。本市においても活動費の捻出が難しい観光案内やクリーンキャンペーンなどのボランティア活動、まんだら堂やぐら群や長柄桜山古墳群などの文化財保護等、地域の魅力向上を図る施策に対しては有効な手段であると考え、このガバメントクラウドファンディングの活用を提案したところ、市長からは事業の実効性を踏まえ導入に向け検討していくとの回答をいただきました。

### ガバメントクラウドファンディングとは？

自治体が抱える課題解決のため、寄附金の使い道を具体的にプロジェクト化し、共感した方々から寄附を募る仕組み。

「ふるさと納税」と同様に所得税や住民税の還付・控除の対象となり、返礼品制度を導入しているプロジェクトも多い。

### ◆転入希望者のニーズに応える施策とは!?

新型コロナウイルスの影響によりテレワークを推奨する企業も増え、都市部から離れた地域に住まいを探す人たちが増加しているとの報道を度々目にします。本市においても自然環境が豊かな地域でありながら、都内への通勤も便利ということで人気エリアの一つに数えられているとも。地元の不動産業者の方から話を聞くと、特に若い世代からの問い合わせが増えているとのこと。今年度上半期の転入超過の数を見ると、昨年度と比べ112人増、一昨年度と比べると213人増の249人となっています。こうした状況を踏まえ、生産年齢人口層の転入をより促進するために子育て環境の充実を市長に求めたところ、来年度開設が決まっている民間保育所に加え保育機能を備えた企業の誘致などを進めるとのことでした。また、市独自の優遇策を講じるなどして保育士の確保にもより一層力を入れ、働きながら子育てしやすい環境を整えていきたいとの考えが示されたところです。

# ～ Topics ～

## 販売制度の再構築が課題

プレミアム商品券の販売開始日となった11月10日、市内の販売所には朝から多くの購入希望者が詰めかけ、午前中で売り切れる店舗が続出。市役所1階の特設コーナーでも販売を行なっていましたが、お昼を過ぎても隣接する亀岡八幡宮の境内まで長蛇の列が続いていました。

今回購入できなかった方も多くいたことから来年度第2弾の販売を実施する意向が市長より示されましたので、その際は市民への優先販売を行うとともに、予約制度やネット販売を導入し購入時に長時間並ぶ必要がないよう、購入者目線の改善を図っていただくことを求めたところです。



## ナイト Run&Walk

市民の方から、池子の森自然公園内400mトラックの夜間個人利用に関する要望を受け関係機関と協議してきた結果、指定日の19:30～20:30までの時間帯において個人利用(料金は200円)が可能となりました。夜間の個人利用日は逗子市体育協会のHPでチェックできます。



※逗子市体育協会 <https://zasa.jp>

## 来年8月に完了予定

昨年5月に崩落し復旧工事が行われていた逗子海岸ロードオアシス横の崖地が7月19日に再び崩落。対策工事について協議が進められてきましたが、工事中であった箇所と合わせて国の補助金を活用し整備されることが決まりました。工事の完了、駐車場の全面再開は令和3年8月の予定となっています。



## 視察報告 ～中学校給食～

神奈川県中央北部に位置する愛川町へ。

愛川町では弁当を持参できない生徒への対応策として、民間業者が作成した献立に従って調理された弁当を希望者が購入できる「業者弁当注文配達方式」を平成17年6月に導入しましたが、利用者は全校生徒の2%台と低迷したことで採算が合わず事業者が撤退、平成19年3月末で終了となりました。その後、完全給食を望む保護者の声を受け、町の栄養士が作成した献立に従い民間業者の施設で調理した弁当を各中学校に配布する「デリバリー弁当箱方式」を平成21年10月からスタート。逗子市でも採用しているこの方式ですが、導入当時で約40%、数年後には約30%と喫食率の向上には結びつかなかったことから、改めて中学校給食のあり方を再検討することになり、町職員や学校職員、PTAなどをメンバーとした懇談会での議論を経て今年度の9月から小学校で調理した給食を中学校に運ぶ「親子方式」に移行したところです。

親子方式の導入にあたっては、①調理機器の増設は行わぬが給食室は増設しない、②原則、中学校分の給食は小学校分と同時に調理する、③小学校と中学校の献立は同一とする、④中学校の1食あたりの分量は小学校の1.3倍とする、⑤小学校1校で賄いきれない場合は2校で分担する、といった前提条件を設けていたことから、安全・安心だけでなく経費の圧縮にもつなげることができたそうです。(初期費用:約3億8,000万円、年間経費:約1億6,000万円)

視察させていただいた愛川町は人口約40,000人、市域は34.28km<sup>2</sup>で、小学校6校(1,825人)、中学校3校(1,030人)と、公立学校数と中学校の生徒数が逗子市とほぼ近い町であるため、非常に参考になりました。ボックスランチ方式の喫食率が低下傾向にあり、かつ残食率の高さが指摘されている本市においても、親子方式を含め食缶の導入ができないものか行政当局と協議していきたいと考えています。



## あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。  
Tel / Fax:046-871-7368 E-mail:takano\_zushi@yahoo.co.jp